社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和05年01月16日

計画の名称	海田町における都市公園の機能強化と利便性の向上（その２）														
計画の期間	令和０５年度　～　令和０７年度　(3年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	海田町														
計画の目標	海田総合公園は海田町の東地区に位置し、「スポーツ、レクリエーション、町民の交流の場」の拠点として昭和58年度から整備に着手し、平成13年度にスポーツ施設を中心とした第1期事業区域（13.8ha）の供用を開始している。 現在は第2期事業区域（10.3ha）である野外レクリエーションゾーンの整備を進めており、町民のレクリエーションニーズが高いキャンプ場を整備し利用を促進することで、町民の心身の健康保持と増進を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	454	A	454	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R7末
1	都市計画区域内において、一人当たり都市公園面積を6.07㎡（R4年度）から9.75㎡（R7年度）に向上する。			
	都市計画区域内の一人当たりの面積割合を算出する。 一人当たりの都市公園面積（㎡/人）＝（町内にある全ての都市公園面積（㎡））／（都市計画区域内人口（人））	6㎡/人	㎡/人	9㎡/人
2	キャンプ場の利用者数を2,700人／年（R4年度）から4,000人／年（R7年度）に50%増加する。			
	キャンプ場の利用者数を集計する。 利用者数の増加率（%）＝（R5年度の年間利用者数）／（R7年度の年間利用者数）	2700人	人	4000人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	海田町	直接	海田町	―	―	海田総合公園都市公園整備事業	用地取得，管理棟，駐車場，炊飯棟，倉庫，便所　等	海田町	■	■	■			454		―
											小計						454		
											合計						454		

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R05				
配分額（a）	11				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	11				
前年度からの繰越額（d）	0				
支払済額（e）	11				
翌年度繰越額（f）	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額（h = c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

案件番号：

事前評価チェックシート

計画の名称： 海田町における都市公園の機能強化と利便性の向上（その２）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との適合性　１）上位計画等との整合性が確保されている。	
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標が町民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性　１）継続的な整備が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

案件番号：